

と いちしゅはんさかぐら  
戸市酒販酒蔵

種 別	国登録文化財 建造物
登録年月日	平成16年11月8日
所在地	大川町

「戸市」を屋号とする富澤家の酒蔵で、現在は店舗として利用されている。

富澤家は、安政年間ごろ（19世紀後半）から小松城下で旅籠<sup>はたご</sup>や糸問屋を営み、明治30年（1897）ごろからは現在地で酒屋を営んできた。

酒蔵は大正15年（1924）ごろに建てられたもので、木造2階建て、檼瓦葺き。壁は柱の外側に板状の切石を積み、漆喰<sup>しっくい</sup>で仕上げている。屋根は野地板<sup>のじいた</sup><sup>(1)</sup>の上に切石を貼り、その上に土を置いて瓦を葺いている。

なお、当建物については、近くにある梯川の改修工事に伴い、平成17年（2005）に解体して部材を保管。平成21年（2009）、保管部材を使用して再築復元された。

(1)「野地板」：屋根の下地板。

